

施策評価シート(令和2年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0104	政策名	観光の振興	施策主管課	観光課	課長名	藤井 淳			
政策の目指す姿	国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出しています									
施策No	02	施策名	観光情報の発信	関係課名	東和地域振興課					
施策の目指す姿	観光資源が国内外で有名になっています									
現状と課題										
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本人観光客の旅行形態は、団体型旅行から個人型旅行に変化してきており、インターネットなど、オンラインによる予約が主流になってきています。 観光客が情報を入手する方法としては、従来型の手法に加えインターネットやSNS等、その手段が多様化しています。 地元経済への波及効果が大きい温泉施設等への宿泊客数については、季節によって増減の差が大きい状況です。 訪日外国人観光客が増加しており、現在は約9割が団体型旅行ですが、全国的には個人型旅行化が進んでおり、今後、花巻も同様に変化していきます。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊富な観光資源の効果的な周知のため、観光客が必要な時に必要な情報を入手できるようにホームページやSNS等を活用した魅力的で新しい情報の発信が必要です。 年間を通じ温泉施設等への宿泊者数が平準化し、通年観光が図られるよう、宿泊開散期の魅力向上に取り組み、情報発信していくことが必要です。 訪日外国人観光客の増加が期待できる重要な市場である台湾、香港において、さらに効果的な情報発信を図る必要があります。 										
前年度の評価の振り返り										
前年度評価時の今後の方向性										
<ul style="list-style-type: none"> 観光協会ホームページの情報更新頻度の向上やSNS、インスタグラムの活用、デジタルサイネージによる情報発信等により、当市を訪れた観光客が当日現地でイベント情報、飲食店情報、新たな観光情報等、観光パンフレットに掲載しきれない魅力的な情報発信を行うとともに、市内民間事業者のアイデアを取り入れた宿泊開散期の解消に向けた事業実施を支援する事業を実施する。 海外での新型コロナウイルス感染症終息後の外国人誘客について、観光事業者等関係者等の誘客意向を確認しながら、終息後の需要喚起のための観光情報発信や受入体制整備を行っていく。 										
反映状況										
<ul style="list-style-type: none"> 観光協会ホームページは、観光情報発信専任スタッフを配置し、SNSを中心とした様々な情報発信ツールにより情報更新頻度向上や、ホームページの特集ページの随時更新を行ったことで、一定程度のアクセス数を確保出来た。 観光協会ホームページや物産品WEBサイト、海外観光客向けのホームページの再構築や市内観光施設のトイレの洋式化に取り組む等、コロナ禍終息後の観光情報発信や受入体制整備を行った。 										
1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組										
<p>(1) 効果的な観光情報の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 花巻観光協会が行うホームページやツイッター、インスタグラム等のSNSによる情報発信への支援 花巻観光協会が行ったSNSによる情報発信に対する支援の実施 <p>魅力的な観光コンテンツを活用した新たな開散期対策への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 花巻観光協会が行った開散期対策としての花巻12湯誘客キャンペーン事業(スタンプラリー実施、動画制作・広告)への支援 <p>(2) 外国人観光客の誘致促進</p> <ul style="list-style-type: none"> SNS等の情報発信ツールの多言語化 花巻観光協会が行った多言語でのSNS等による海外向け情報発信、外国人観光客向けホームページ更改への支援 <p>外国人観光客の受入体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共施設等トイレ洋式化による外国人観光客受入環境整備の実施 										
2 成果指標										
成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H29	H30	H31	R02	R03	R04
観光協会ホームページのアクセス件数	観光客が花巻に関心を持った回数を示す指標	花巻観光協会ホームページに導入されているアクセスカウントより算出	万件	目標値	49.90	50.00	50.20	44.40	44.50	44.60
				実績値	35.20	43.90	95.78	78.06		
訪日外国人観光客入込数	国内をはじめ、国外への情報発信の効果測定の観点から、花巻市への観光客入込数のうち、外国人観光客数を指標設定	国が定めた「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく調査	万人	目標値	3.70	4.40	5.20	7.50	8.00	8.50
				実績値	4.60	5.00	6.06	0.90		
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<p>成果指標「花巻観光協会ホームページのアクセス件数」・・・【達成度 a】 同協会において観光情報発信専任スタッフを配置し、様々な観光情報を随時更新、SNS、Instagramによる発信、花巻12湯プロモーション動画を制作し、Facebook、YouTubeによる動画広告配信や県内・宮城県でのテレビCM及び番組内告知を行った結果、目標値を大幅に上回る実績となった。</p> <p>成果指標「訪日外国人観光客入込数」・・・【達成度 d】 全世界での新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、日本国内において、海外からの渡航者の受入れ制限が長期間行われたことから、海外からの旅行者が皆無となる状況となった。</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<ul style="list-style-type: none"> ・（観光情報発信事業費）新たな観光施設の掲載や古い観光情報の更新を行うため、掲載観光パンフレットの更新を行うとともに、観光パンフレットのデジタル化に取り組み、様々な方法での情報提供を実施する。 ・（外国人観光客誘致促進事業費）令和元年度は台湾、中国との定期便が就航していたこともあり海外から多くの観光客が訪れていたが、令和2年度は海外からの渡航者の受け入れ制限があり、海外定期便も長期休航となっており、国内外での感染状況やワクチン接種状況を見定めながら往来再開に向けた準備に取り組んでいく必要がある。
新たに取り組むべき事業はないか
なし

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、県外、海外からの観光客の誘客が行えない状況があり、国内外の新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じたタイミングを見計らった観光情報発信が重要となっている。 ・効果的に情報発信可能なSNS等のデジタル配信による観光情報発信に積極的に取り組む必要がある。 ・海外誘客については、現地での旅行博や商談会により誘客事業を実施していたが、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況の中、再開後を見据えたPR方法を検討する必要がある。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・全国的なワクチン接種の状況を見据えながら、情報発信事務を担っている花巻観光協会と連携し、県外客を誘客するための情報発信を的確なタイミングで行う。 ・SNS等のデジタル配信により花巻観光協会のアクセス数が増加していることから、新たな素材を追加する等、継続して取り組む。 ・海外への観光PRは当面、外国語によるSNS等での観光情報発信が主となるが、国内外のワクチン接種状況や感染収束状況を見定めながら、現地での旅行博や商談会への参加が可能かどうか都度検討、判断していく。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
010	観光情報発信事業費	観光	間接・少数	直結	A
	花巻観光協会への運営支援・観光パンフレット等の作製委託、閑散期の宿泊施設利用促進への支援、体験型観光コンテンツ創出・改良する取り組みへの支援 65,121千円(体験型観光コンテンツ支援数 3件)			B	
020	外国人観光客誘致促進事業費	観光	一致	直結	C
	花巻観光協会が取り組むインパウンド事業への支援、花巻観光協会ホームページでの海外向けページの再構築、公共施設のトイレ洋式化等受入環境整備の実施 13,680千円(トイレ洋式化実施施設数 6施設)			A	